Panasonic®

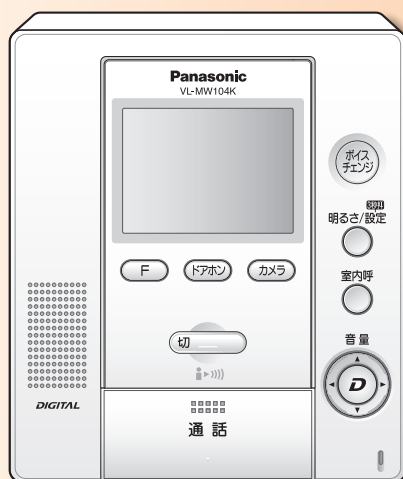
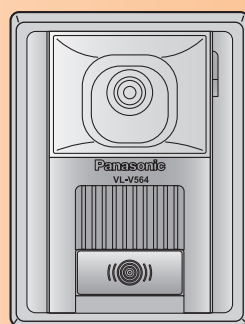
別冊 取扱説明書

カラーテレビドアホン

ブイエル　エスブイ　　　　ケイ
品番 **VL-SV104K**

VL-MW104K
（カラーモニター親機）

VL-V564-K
（カラーカメラ玄関子機）

本書の前に、共通編をお読みください

VL-MW104K

VL-V564-K

■安全上のご注意、ご使用前の準備、困ったときの対処方法などは「共通編」に記載していますので、必ずお読みください。

■本書では、カラーモニター親機を「ドアホン親機」、カラーカメラ玄関子機を「ドアホン」と表記しています。

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは「さくいん」が便利です。（☞ 34～35ページ）

こんな機能があります

■ 録画機能

（☞ 16ページ）

来客の映像を自動で録画します。
また、モニター画面を見ながらの録画もできます。

■ ボイスチェンジ機能

（☞ 9ページ）

女性などの高い声を男性のような低い声に変えて話すことができます。

お好み設定

音の設定

機能を変える

必要なとき

■ 別売のワイヤレスカメラを使う
（☞ 13 ページ）

離れた部屋の様子がいつでもモニターできます。
ワイヤレスだから設置も移動も簡単です。（電源コンセントが必要です）

※動画ではありません。

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機

液晶ディスプレイ

（☞ 6 ページ）

スピーカー

切ボタン

- 通話を終了する
- 操作を途中でやめる
- ディスプレイが消えているときに押すと、情報表示画面が映る（☞ 6 ページ）

送話ランプ

- こちらの声が相手に聞こえているとき点灯する

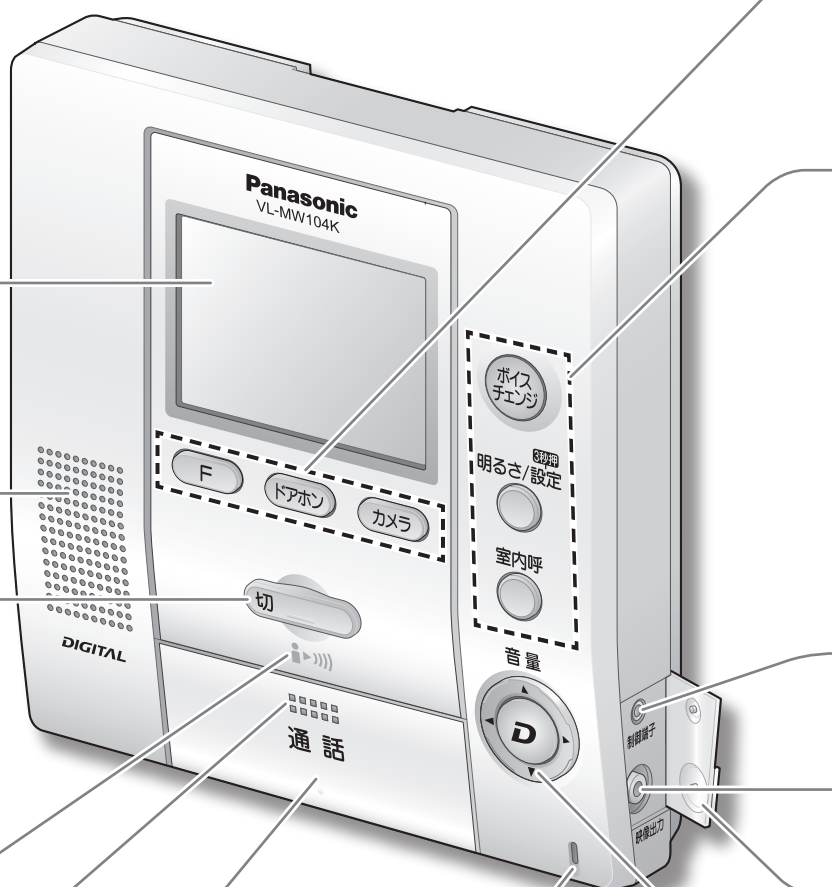
通話ランプ

- ドアホンや子機からの着信中は点滅、通話中は点灯する

通話ボタン

- 通話する（☞ 8 ページ）

マイク

- 話すとき、手でふさがないでください

● 電気錠などの機能を登録して使う（☞ 30 ページ）

● 外の様子を確認する（☞ 11 ページ）

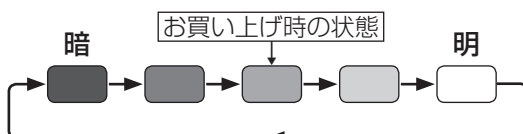
カメラ

別売のカメラ増設時のみ

● カメラ周辺の様子を確認する（☞ 14 ページ）

● 自分の声を変える（☞ 9 ページ）

● 映像（画像）の明るさを変える

➔ 押すごとに明るさが
　切り替わる（5 段階）

● 約 3 秒間押すと、機能設定画面を表示する（☞ 24 ページ）

室内呼

● 子機を呼び出す（☞ 10、21 ページ）
※ VL-SV104K のみでご利用の場合は、子機の増設が必要

外部制御端子（予備：何も接続しないでください）

映像出力端子

● RCA ピンコード（市販品）を使ってテレビなどに接続すると、ドアホン親機の画面に表示している映像（画像）をそのまま出力できる（ただし、接続するテレビの画面が大きいほど、画質は低下します）

端子カバー

マルチファンクションキー

本書では、キーの押しかたを下記のようなイラストで表しています

（上または下を押す）

● ドアホンからの呼出音量を変える（☞ 23 ページ）
● 受話音量を変える（☞ 23 ページ）
● 項目の選択などに使う

（左または右を押す）

● カメラ（別売）からの呼出音量を変える（☞ 23 ページ）

（D を押す）

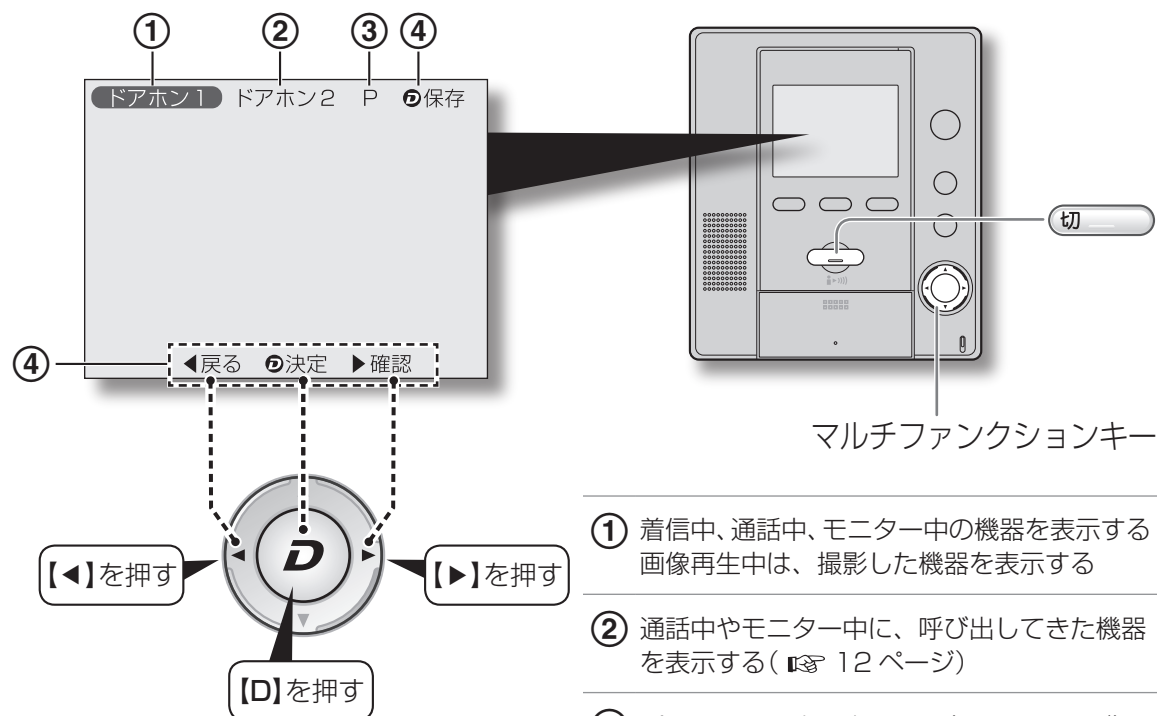
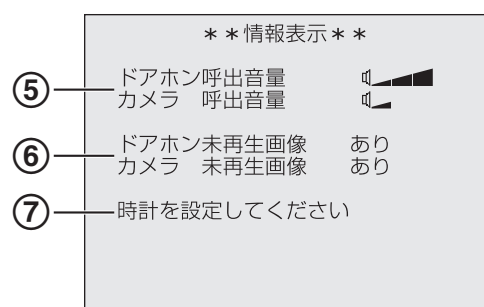
● 録画または再生する（☞ 17、18 ページ）
● 録画した未再生画像があると点滅する（☞ 16 ページ）

各部のなまえとはたらき（つづき）

液晶ディスプレイ（モニター画面）

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

- 待ち受け中はディスプレイが消えて何も見えなくなりますが、切 を押すと〈情報表示画面〉を表示します。

〈操作中の画面〉

〈情報表示画面〉

① 着信中、通話中、モニター中の機器を表示する
画像再生中は、撮影した機器を表示する

② 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器を表示する（☞ 12 ページ）

③ プレストーク中に表示する（☞ 9 ページ）

④ マルチファンクションキーで行う操作を表示する
（表示は、操作する場面によって変わります）

⑤ ドアホンやカメラ（別売）からの現在の呼出音量を表示する
「切」に設定中は 切 を表示する

⑥ ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があるときに表示する

⑦ 日時が設定されていないときに表示する
（☞ 共通編「ドアホン親機を準備する」）

> **モニター画面の映像表示について**
>
> カメラ（別売）からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

ドアホン

- ドアホンの映像は昼間など明るいところではカラー表示されますが、夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒になります。

パネル

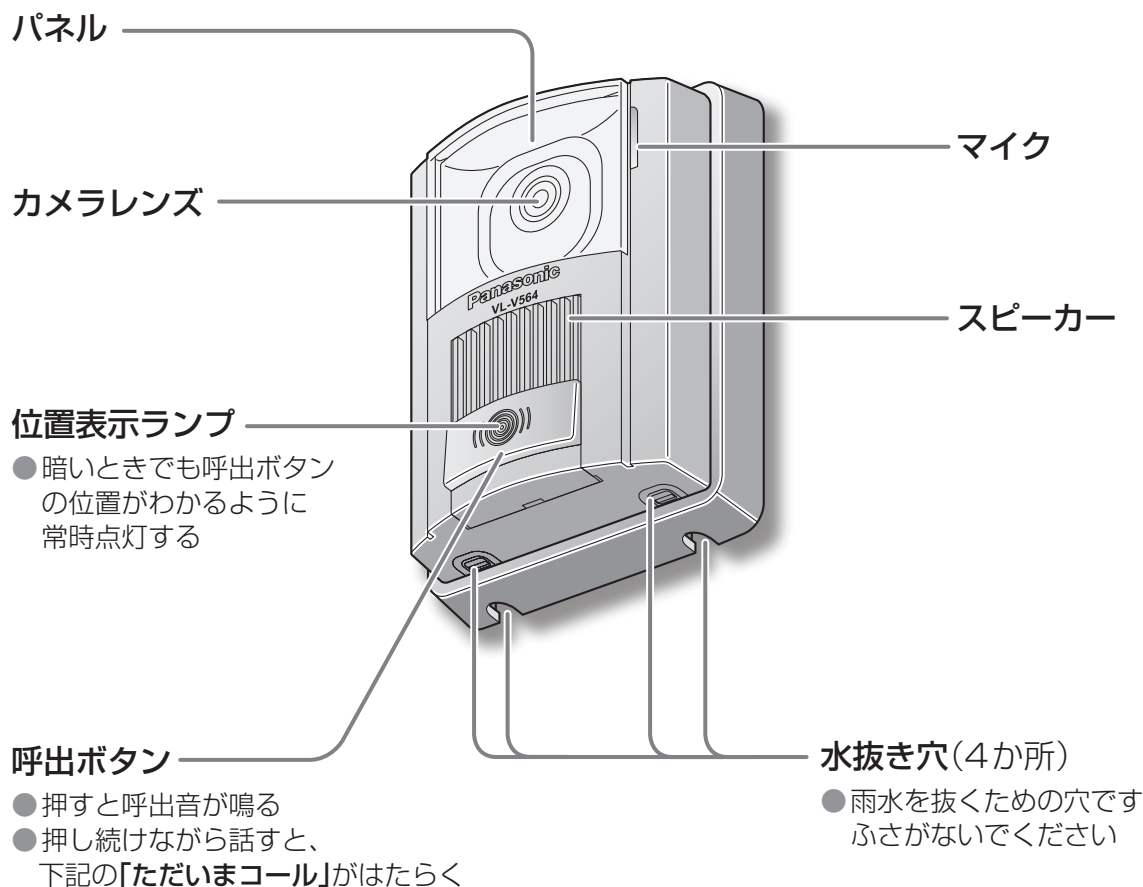
マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ
- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

呼出ボタン
- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の「**ただいまコール**」がはたらく

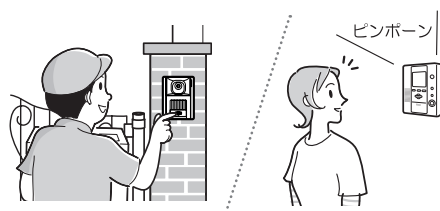
水抜き穴（4か所）
- 雨水を抜くための穴です　ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

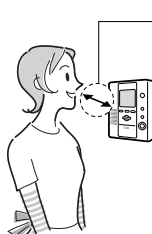
① 呼出ボタンを押したまま、約 3 秒後に呼びかける

- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます。
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます。

② 終わったら、指を離す

呼び出しに応答する

1 呼出音が鳴り、ドアホンの映像が映ったら、

[通 話] **を押す**

2 **話す**

約 50 cm 以内！

画面を見ながら
相手と交互に話す

3 終わったら、

[切] **を押す**

通話中はこんなことができます

■ **画面の明るさを変える**

➔ 明るさ/設定 ◯ を押す（ ☞ 5 ページ）

■ **受話音（スピーカー音）の大きさを変える**

➔ 音量 を押す

■ **映像を録画する**

➔ Ⓓ を押す（ ☞ 17 ページ）

■ **自分の声を変える（ボイスチェンジ）**

➔ ボイスチェンジ を押す（ ☞ 右ページ）

■ **周囲が騒がしいとき、プレストーク通話に切り替える（ ☞ 右ページ）**

お知らせ

- 呼び出しは約 30 秒、通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
  ➔ [通 話] を押すと、相手につながり再び話ができます。
- 着信時の相手の映像が自動で録画されます。（ ☞ 16 ページ）
- 「ただいまコール（ ☞ 7 ページ）」の場合、応答しなくても、呼出音に続けて相手からの呼びかけが聞こえます。
- 呼出音の種類や音量は、変更できます。（ ☞ 22、23 ページ）
- **夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。**
- **通話中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（ ☞ 12 ページ）**

● 便利な機能（音声応答／プレストーク通話／ボイスチェンジ） ●

ボタンを押さずに声で応答する
（音声応答）

● 設定が必要
（☞ 25 ページ）

① 呼出音が鳴ったら、**声で応答する**（相手には聞こえない）

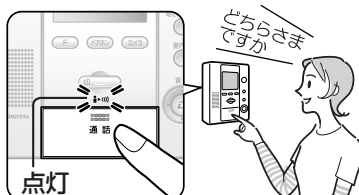
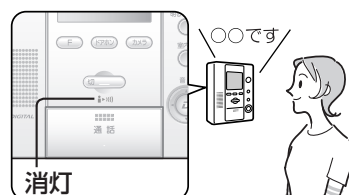
- 「ピッ」と鳴ったら、話ができる
- 「はーい」などの声を伸ばしすぎる（約 1 秒以上）と、応答できない
- 周囲の音にも反応するため、子機を近くに置くと、子機の呼出音で音声応答してしまうことがあります

周囲が騒がしく通話しにくいとき
（プレストーク通話に切り替える）

下記の操作で送話と受話を切り替えて交互に話すと、話しやすくなります。

① 通話中に「ピッ」と鳴るまで、［通 話］**を約 2 秒間押す**

- 画面に「P」と表示

② ■ 話すとき（送話）
［通 話］**を押したまま話す**

■ 聞くとき（受話）
［通 話］**から指を離す**

自分の声を変える
（ボイスチェンジ）

女性などの高い声を男性のような低い声に変えて話すことができます。
- 声の高さは 2 段階で、設定により変更できます。（☞ 25 ページ）

① 着信中または通話中に、［ボイスチェンジ］**を押す**

- ［ボイスチェンジ］が点灯（再度押すと消灯し、元の声に戻る）

お知らせ

- 音声応答は、子機からの呼び出し（ドアホン室内通話）にも使えます。
- プレストーク通話は、子機やカメラ（別売）との通話中にも使えます。
- ボイスチェンジは、カメラ（別売）との通話にも使えます。
- プレストーク通話やボイスチェンジ機能は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する

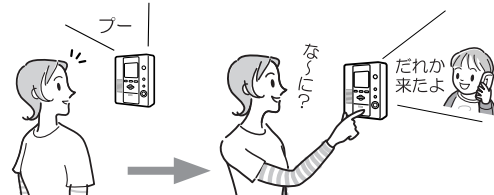
ドアホン機能が使える子機との間で、ドアホン通話を転送できます。

- VL-SV104K のみでご利用の場合、ドアホン親機への子機増設が必要です。
- VL-SW104K でご利用の場合、付属の電話親機や別売の電話専用子機には、転送できません。

● ドアホン親機から転送するとき ●

1 ドアホン通話中に、

室内呼 を押し、転送先の子機に呼びかける

- ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

2 子機が出たら、

通話を転送することを伝え、

切 を押す

- 子機との通話が切れ、子機がドアホンと通話できる

● ドアホン親機で受けるとき ●

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

通話 を押し、子機と話す

- 子機が通話を切ると、ドアホンの映像が映る

2 **ドアホン側の相手と話す**

3 終わったら、

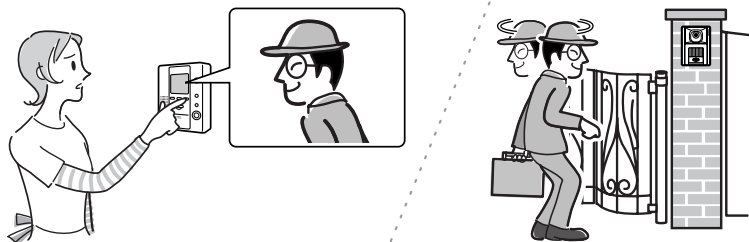
切 を押す

お知らせ

- 子機と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
- 子機が出ないときや子機と通話中に、ドアホンとの通話に戻るには
  ➔ 通話 を押す
- 「室内呼出」(☞ 25 ページ)の設定を「一斉 / 個別」に変えておくと、下記の手順で個別に呼び出して転送できます。
  ① ドアホン通話中に 室内呼 を押し、 で転送先の子機を選ぶ
  ② D を押し、呼びかける
  ➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる
  ③ 子機が出たら、通話を転送することを伝え、 切 を押す
  ➔ 子機がドアホンと通話できる

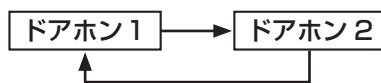
(例)

＊＊室内呼（保留）＊＊
一斉
子機１
子機２
子機３
子機４

外の様子を確認する（ドアホンモニター）

1 ドアホン を押す

● 映像が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はドアホン側には聞こえません）

■ ドアホン側の相手と話すには
➔ 通 話 を押す

● ドアホンが 2 台あるときは、ドアホン を押すごとに映像が切り替わる

2 終わったら、
切 を押す

モニター中や通話中はこんなことができます

■ 画面の明るさを変える
➔ 明るさ/設定 を押す（☞ 5 ページ）

■ 受話音（スピーカー音）の大きさを変える
➔ 音量 を押す

■ 映像を録画する
➔ D を押す（☞ 17 ページ）

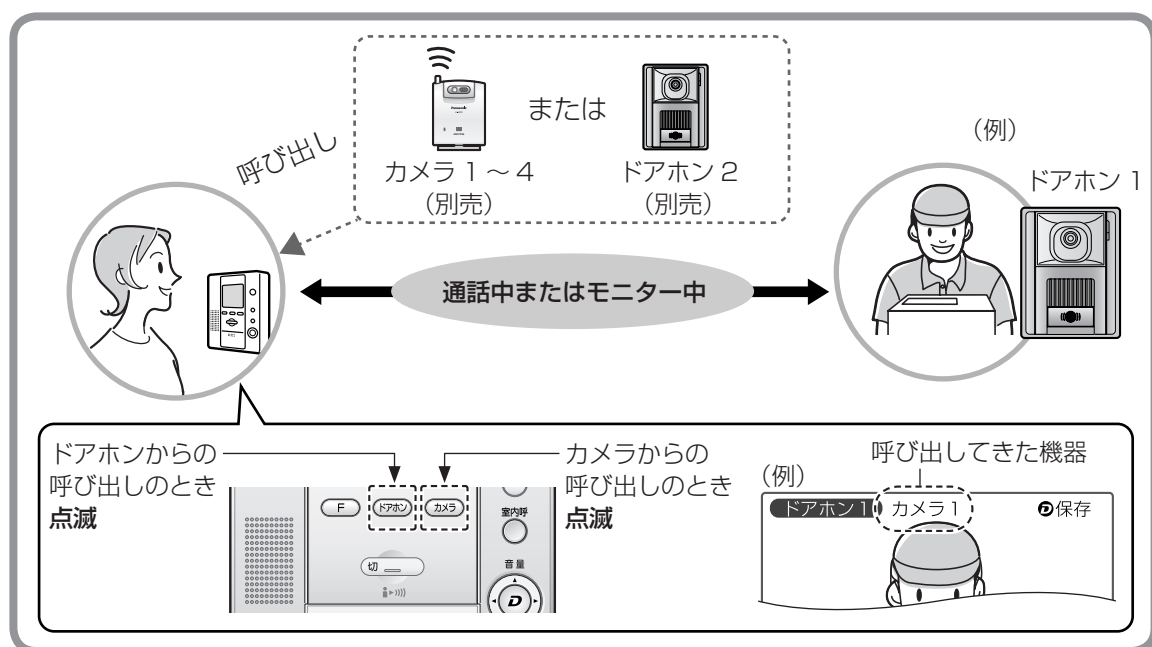
■ 自分の声を変える（ボイスチェンジ）
➔ ボイスチェンジ を押す（☞ 9 ページ）

■ 周囲が騒がしいとき、プレストーク通話に切り替える（☞ 9 ページ）

お知らせ

● モニターは約 90 秒で自動的に終了します。
● 夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。
● モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（☞ 12 ページ）

通話中やモニター中に 別の呼び出しに応答する

通話（モニター）中に別の機器から呼び出しがあると、通話（モニター）中のドアホン親機でのみ呼出音が鳴り、ボタンの点滅と画面の表示で、呼び出してきた機器をお知らせします。

1 通話またはモニター中に呼出音が鳴ったら、

点滅している ドアホン または カメラ を押す

● 映像が切り替わり、周囲の音が聞こえる
（こちらの声は相手側には聞こえません）

■ **相手と話すには**
➔ 通話 を押す

2 終わったら、

切 を押す

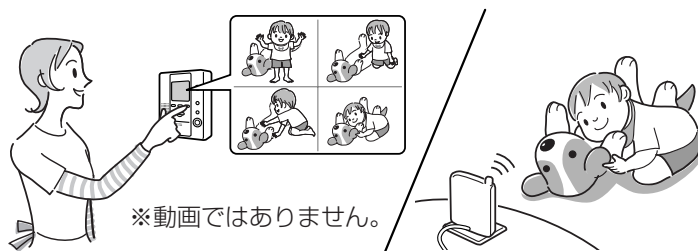
お知らせ

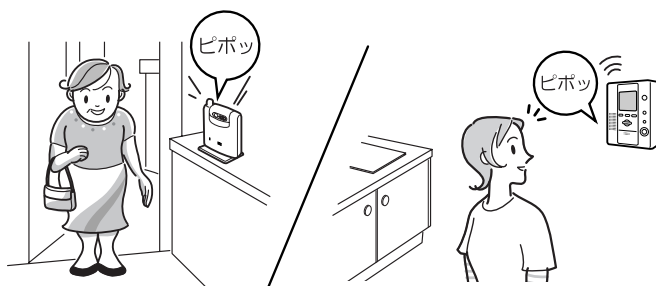
● 別の呼び出しに応答したあと、最初に通話またはモニターしていた機器に戻るには
• ドアホンに戻るとき：11 ページの手順 1 から操作してください。
• カメラに戻るとき　：14 ページの手順 1 から操作してください。

カメラを使ってできること

別売のワイヤレスカメラ(☞ 共通編「 別売品・推奨品一覧 」)を増設したときは、
下記のような使いかたができます。

● ワイヤレスカメラの説明書で設置場所や人感センサーの検知範囲などをご理解のうえ、
お使いください。

別の部屋の様子などを確認できます

人感センサーが反応して、呼出音と映像でお知らせします

センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を自動で録画します。
(☞ 16 ページ)
留守中も録画されるので、あとから確認できます。(☞ 16 ページ)

カメラの画質について

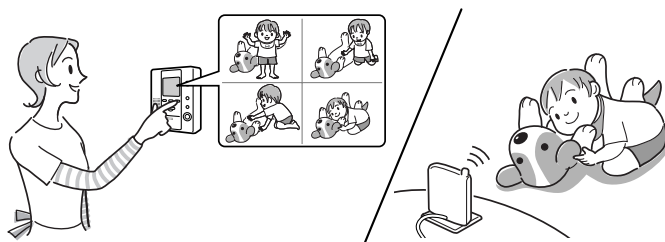
● ドアホンよりも多少劣ります。また、下記のような場合があります。
- 静止画のため、動いている人がぶれる
- 逆光のとき、人の顔が暗くなる
- 蛍光灯を映すと、周りがかすんだようになる
- 色合いが、実際の色と異なる

カメラの機能設定 (☞ 26 ページ)

● 下記のような場合など、必要に応じてカメラの機能設定を変更できます。
- カメラ映像を拡大表示したい！ **「ズーム」**
- 人感センサー反応時にカメラ側で鳴る音の種類を変えたい！ **「カメラ出力音」**
  または、音の大きさを変えたい(消したい)！ **「カメラ出力音量」**
- 人感センサーを反応させたくない、
  または、反応の時間間隔や自動録画の設定を変えたい！ **「センサー種別」**

カメラ映像の表示方法について

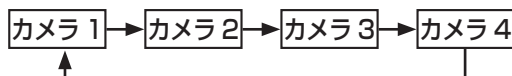
● お買い上げ時は 4 画面表示で、4 つの映像を次々に更新していきます。
設定を変えて、画面全体に 1 つの映像を 1 画面表示することもできます。
(☞ 25 ページ「カメラ表示数」)
- ただし、映像を引き伸ばすため、画質は低下します。

カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）

1 カメラ を押す

● 映像が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ カメラ側の相手と話すには
➔ 通 話 を押す

● カメラが 2 台以上あるときは、カメラ を押すごとに映像が切り替わる

（例：カメラが 4 台の場合）

2 終わったら、切 を押す

モニター中や通話中はこんなことができます

■ 画面の明るさを変える
➔ 明るさ/設定 を押す（☞ 5 ページ）

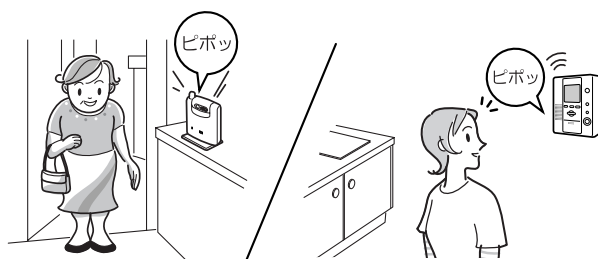
■ 受話音（スピーカー音）の大きさを変える
➔ 音量 を押す

■ 映像を録画する
➔ D を押す（☞ 17 ページ）

■ 自分の声を変える（ボイスチェンジ）
➔ ボイスチェンジ を押す（☞ 9 ページ）

■ 周囲が騒がしいとき、プレストーク通話に切り替える（☞ 9 ページ）

呼び出しに応答する

人感センサーが反応すると、
呼出音と映像でお知らせします。
必要に応じて応答してください。

1 呼出音が鳴り、カメラの映像が映ったら

カメラ を押す

● カメラ側の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

> **■ カメラ側の相手と話すには**
>
> ➔ を押す

2 終わったら、

切 を押す

お知らせ

- センサー反応時の呼び出しは約 30 秒、モニターや通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- センサー反応時の映像は、自動で録画されます。（☞ 16 ページ）
- 呼出音の種類や音量は、変更できます。（☞ 22，23 ページ）
- カメラ側から話しかけるときは、カメラのマイクに向かって**約 50 cm 以内**で話してください。
- **モニター中や通話中にドアホンや別のカメラから呼び出されたら（☞ 12 ページ）**

録画する

自 動 録 画

呼び出しがあると自動で録画します。(留守の場合も録画するので、あとで確認できます)

待受中に
ドアホンや
カメラ(別売)から
呼び出しがあると

ドアホン

呼び出しから約 2 秒後の映像を 1 枚、録画する

● 録画枚数は「4 枚」に変更できます
(☞ 28 ページ「ドアホン録画数」)

カメラ

人感センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を録画する

● 録画枚数は変えられません

お知らせ

● 通話中やモニター中の呼び出しの場合は、自動録画されません。
ただし、呼び出しに応答すると、応答してから表示される映像を下記のように録画します。
- ドアホンのとき:1 枚または 4 枚録画(枚数は設定によります)
- カメラのとき :4 枚録画(1 枚目は常に人感センサー反応時の映像です)

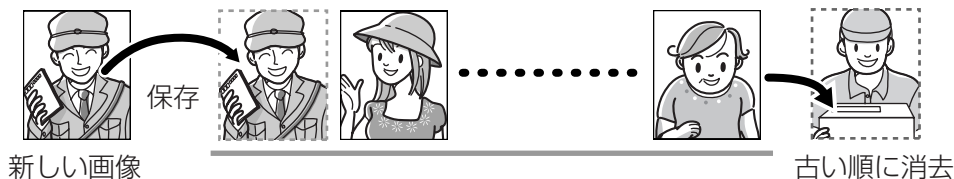
● 自動録画しないように設定を変更することもできます。
(☞ 27 ページ「ドアホン自動録画」、☞ 26 ページ「センサー種別」)

● ドアホンやカメラの映像を 4 枚録画中に、別の機器から呼び出しがあると、4 枚録画できないことがあります。(最低 1 枚は録画されます)

● **留守などで応答しなかったときは、未再生画像として録画されていることを下記のようにお知らせします。**

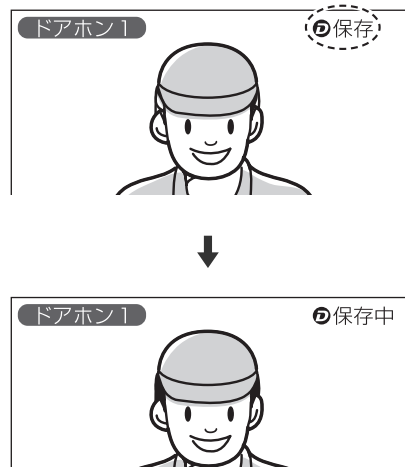
- Ⓓ を押すと消灯し、再生画面になります。(☞ 18 ページ)
- 常に点滅させないようにしたり、ドアホンまたはカメラのどちらかの未再生画像があるときのみ点滅させるよう変更することもできます。
(☞ 25 ページ「再生キー点滅」)

録画(保存)可能枚数と画像の自動更新

ドアホンやカメラの画像を合計 100 枚まで、ドアホン親機に録画(保存)します。
画像が 100 枚保存されているときに、新しい画像を保存すると、一番古い画像(未再生を含む)を自動で消去します。

手動録画

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。

1 画面に「D 保存」と表示しているときに、

D を押す

お知らせ

● D を押してから録画されるまで時間差が生じます。
このため、D を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

お知らせ

● 消去したくない画像は保護できます。（☞ 20 ページ）
● カメラをご使用の場合、あらかじめ「録画枚数振分」の設定（☞ 28 ページ）をしておくと、ドアホン画像（最大 30 枚）とカメラ画像（最大 70 枚）に分けて録画（保存）できます。
➔ この場合、ドアホン画像とカメラ画像は、それぞれの画像ごとに自動更新されます。

（例）ドアホン画像が 30 枚、カメラ画像が 70 枚のとき
新しくドアホン画像を保存すると・・・
↓
ドアホン画像の一番古いものを消去

再生する

(D) が点滅しているときは、未再生画像があります。下記の再生操作をすると、消灯します。

1

(D) を押し、(◇) で再生する画像の項目を選ぶ

① 応答しなかったドアホン画像
② すべてのドアホン画像
③ 応答しなかったカメラ画像
④ すべてのカメラ画像

● 画像がない項目は、グレー表示で選べない

2

(D) を押し、(◇) で画像を再生する

● (◇) を押すごとに、新しい順に再生
● (◇) を押し続けると早送り／早戻し
（指を離すと画像を表示）
● 画面表示の見かた（☞ 右ページ）

3

終わったら、

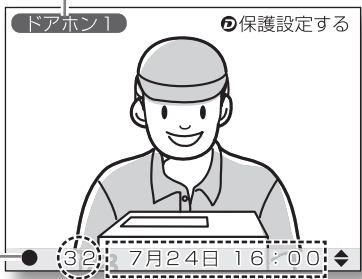
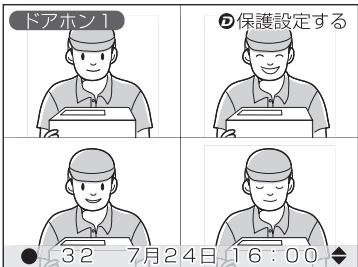
（切）を押す

● 未再生画像が残っている場合でも、
(D) が消灯する

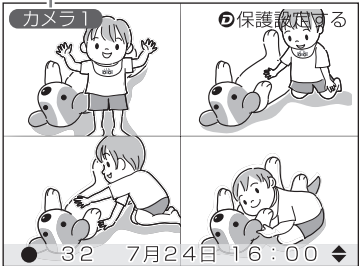
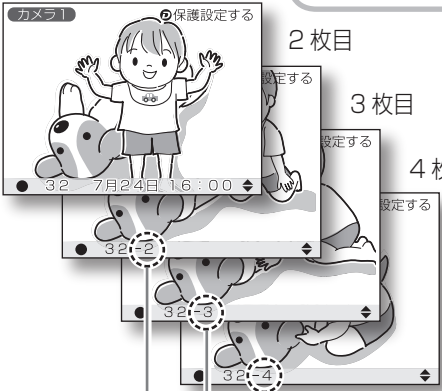
再生中はこんなことができます

■ 画面の明るさを変える

➔ （明るさ/設定）を押す（☞ 5 ページ）

■ 画像を保護する

➔ (D) を押す（☞ 20 ページ）

■ 画像を消去する

➔ (D) を約 2 秒間押し、「消去しますか」が出たら (◇) を押す（☞ 20 ページ）

■ ドアホン画像の再生画面

■ カメラ画像の再生画面

お知らせ

● 4 枚録画できなかったとき

- 4 画面（4 分割）表示の場合：録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。
- 「4 枚で 1 セット」画像の場合：[ボタン] を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示し、次の画像を表示します。

録画／再生

再生する

再生する（つづき）

画像を保護する

画像再生中に、消去したくない画像を
最大 20 枚まで保護できます。

1 画面に「D 保護設定する」と表示しているときに、

D を押す

● **保護解除するには**

➔ 再度 D を押す
（ O┳ が消える）

2 終わったら、

切 を押す

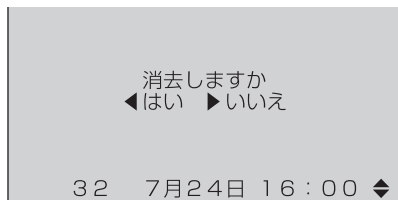
お知らせ

● 「4 枚で 1 セット」の画像は、そのうちの 1 枚を保護設定すると 4 枚すべてが保護されます。ただし、保護した枚数は 1 枚分になります。
● 保護枚数が 20 枚になると、画面右上の「D 保護設定する」の表示が出なくなります。
➔ 新しく保護したい画像があるときは、別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

画像を消去する

画像再生中に、不要な画像を消去できます。

1 画像再生中に、

D を約 2 秒間押す

2 ◀ を押す

● 画像が消え、次の画像が表示される

3 終わったら、

切 を押す

お知らせ

● **「連続画像あり 消去しますか」と表示されたとき**
➔ 「4 枚で 1 セット」の画像です。
消去すると、4 枚とも消えます。
● **すべての画像を一度に消去するには**
（☞ 28 ページ「画像全消去」）

子機と話す（ドアホン室内通話）

ドアホン機能が使える子機との間で、通話ができます。

● VL-SV104K のみでご利用の場合、ドアホン親機への子機増設が必要です。
● VL-SW104K でご利用の場合、付属の電話親機や別売の電話専用子機とは、通話できません。

● ドアホン親機から呼び出すとき ●

1 室内呼 を押し、
子機に呼びかける

● 通話ランプが点灯

2 子機が出たら、
話す

3 終わったら、
切 **を押す**

● ドアホン親機で受けるとき ●

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、
通話 **を押し、子機と話す**

2 終わったら、
切 **を押す**

お知らせ

● 相手が別売のドアホン専用子機の場合、通話は約 90 秒で自動的に終了します。
● **通話中にドアホンやカメラから呼び出されたとき**
① 切 を押して子機との通話を終了する
② 呼び出しに応答する（ドアホンの場合 ☞ 8 ページ、カメラの場合 ☞ 15 ページ）
● 「室内呼出」（☞ 25 ページ）の設定を「一斉 / 個別」に変えておくと、下記の手順で個別呼び出しができます。
① 室内呼 を押し、 で呼び出す子機を選ぶ
② を押し、呼びかける
➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる
③ 子機が出たら、話す

（例）

＊＊室内呼＊＊
一斉
子機 1
子機 2
子機 3
子機 4

呼出音を変える

ドアホンやカメラ(別売)からの呼出音を変更できます。
● 子機からの呼出音は変えられません。

1 機能設定の画面が出るまで、明るさ/設定 を約３秒間押す

2 で［その他］を選ぶ

3 を押し、で［呼出音］を選ぶ

4 を押し、で呼出音を変えたい機器を選ぶ

5 を押し、で音を選ぶ

● **選んだ音を聞くには**
➔ を押す

6 を押す

●「ピー」と鳴り、手順４の画面を表示する

7 終わったら、切 を押す

お知らせ

● 別売のドアホン専用子機「VL-W600」を増設してご利用の場合、この設定に従って子機側の呼出音も変わります。

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン１「音１」、ドアホン２「音２」、カメラ１～４「音A」

ドアホンの呼出音		カメラの呼出音	
音１	ピーンポーン	音A	ピポッ
音２	プルルルルルル…	音B	ポポポポポポ…
音３	ピンポーンピンポーン	音C	ポーンポーン
―	―	音D	ピーンポーン

音の大きさを変える（呼出音量 / 受話音量）

呼出音量

ドアホンやカメラ（別売）からの呼出音量を、
それぞれ変更できます。
（3 段階、および呼出音「切」）

待ち受け中に、 **を押す**

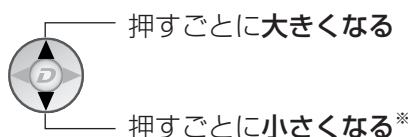
ドアホンからの呼出音量を変えるとき

押すごとに**大きくなる**

押すごとに**小さくなる**※

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、
呼出音「切」になる

■「切」を解除するには

➔ を押す

カメラからの呼出音量を変えるとき

押すごとに
小さくなる※

押すごとに
大きくなる

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、
呼出音「切」になる

■「切」を解除するには

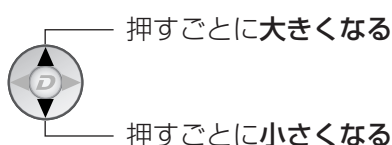
➔ を押す

受話音量

通話中の音量を、変更できます。（3 段階）

通話またはモニター中に、 **を押す**

押すごとに**大きくなる**

押すごとに**小さくなる**

お知らせ

● 室内呼出や通話を転送するときの呼出音は、受話音量で設定した大きさで鳴ります。

機能を変える（機能設定一覧表）

使いかたに合わせて、ドアホン親機・カメラ（別売）・その他の機能（☞ 25 ～ 28 ページ）を変更・設定できます。

● 設定中に着信があったときや、約 90 秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

設定のしかた

1 機能設定の画面が出るまで、

明るさ/設定 **を約 3 秒間押す**

2 **で設定を変えたい項目を選び、** **を押す**

■ カメラ を選んだとき

➔ 続けて で設定を変えたいカメラ番号を選び、 を押す

3 **で変更したい機能を選び、** **を押す**

4 **で設定内容を選び、** **を押す**

● 変更する機能によっては、画面の表示に従ってこの操作を繰り返す

● 設定が完了すると、「ピーッ」と鳴る

5 終わったら、

 を押す

ドアホン親機の機能

24 ページの手順 2 で「親機」を選んだときに設定できる機能です。

　　　 のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
音声応答	ドアホンや子機からの呼び出しに、通話を押さずに「はーい」などの音声で応答する（別売のカメラからの呼び出しには応答できません） ON、OFF ● 音声応答のしかた（☞ 9 ページ） ●「ON」を選んでも、通話を押して応答することができる
室内呼出	室内呼び出しで、すべての子機を呼び出すときは「一斉」、個別呼び出しもできるようにするときは「一斉 / 個別」を選ぶ 一斉、一斉 / 個別
ボイスチェンジ	ボイスチェンジの声の高さを選ぶ 通常、低め
録画日時表示	画像再生時に表示される、録画日時の表示時間を選ぶ 常時、3 秒表示
再生キー点滅	ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があるとき、ドアホン親機の D を点滅させる OFF（点滅しない）、ドアホン、カメラ、ドアホン / カメラ ●「ドアホン」：ドアホンの未再生画像があるときのみ点滅する 「カメラ」：カメラの未再生画像があるときのみ点滅する 「ドアホン / カメラ」：どちらかの未再生画像があるときに点滅する
カメラ表示数	カメラ（別売）の映像や再生画像を「1 画面」で表示するか、「4 画面（4 分割）」で表示するかを選ぶ 1 画面、4 画面

機能を変える（機能設定一覧表）

カメラ(別売)の機能

24 ページの手順 2 で「カメラ」を選んだときに設定できる機能です。各機能は、カメラ 1 ～ 4 に対して個別に設定できます。

［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能	機能の概要と設定内容
カメラ出力音	センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ ［音 A］、音 B、音 C、音 D ● 音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには（▶）を押す
カメラ出力音量	センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ 大、［中］、小、切
センサー種別	センサー反応の種別(人感 / 外部入力 /OFF)と次のセンサー反応までの時間(60 秒 /20 秒 / 常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ ［人感 /60 秒 自動録画 ON］、人感 /60 秒 自動録画 OFF、 人感 /20 秒 自動録画 ON、人感 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /60 秒 自動録画 ON、外部入力 /60 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /20 秒 自動録画 ON、外部入力 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 / 常時 自動録画 OFF、OFF（センサー反応しない） ● カメラにコールボタンなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ（コールボタンについては、カメラに添付の説明書をお読みください）
人感センサー感度	人感センサーの感度を選ぶ (人感センサーについては、カメラに添付の説明書をお読みください) ［標準］、低 ● 正面方向の検知距離は、「標準」で約 5 m、「低」で約 2 mになる ● センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ
カメラマイク感度	モニター中や通話中に、ドアホン親機または子機から聞こえるカメラ側の音の大きさを選ぶ 大、［中］、小、切 ●「切」を選ぶとカメラからの音は聞こえない
カメラ受話音量	ドアホン親機または子機との通話時に、カメラから出る音声の大きさを選ぶ ［大］、中、小
ランプ表示	カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ ［常時］、通信時、消灯
ズーム	カメラからの映像を拡大するかしないかを選ぶ ［標準］、拡大(約 1.6 倍)
露出補正	被写体と背景の明るさに大きく差があり、適正な補正が得られないときに調整する (映像が暗くなる)−3、−2、−1、［0(標準)］、+1、+2、+3 (映像が明るくなる)
上下反転表示	カメラからの映像を、上下反転するか、しないかを選ぶ する、［しない］
設定の初期化	カメラの設定を、お買い上げ時の状態に戻す

その他の機能

24ページの手順2で「その他」を選んだときに設定できる機能です。

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
日時	現在の日付・時刻を設定する（☞ 共通編「ドアホン親機を準備する」）
呼出音	ドアホン親機で鳴る呼出音の種類を選ぶ（☞ 22ページ） ドアホン1　：音1、音2、音3 ドアホン2　：音1、音2、音3 カメラ1～4：音A、音B、音C、音D（増設したカメラごとに設定できる） ● 音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには ▶ を押す
鳴り分け	ドアホン親機や子機ごとに、ドアホンやカメラ（別売）からの着信をさせないように指定する（☞ 29ページ） ドアホン1　：ON、OFF ドアホン2　：ON、OFF カメラ1～4：ON、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ● 着信させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
A接点	ドアホン親機のA接点端子に接続した機器（回転灯や光るチャイムなど）の動作を、ドアホンやカメラ（別売）からの呼び出しに連動させるかを選ぶ（☞ 31ページ） ドアホン1　：ON、OFF ドアホン2　：ON、OFF カメラ1～4：ON、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ● 連動させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
拡張機器	別売のドアホンアダプターを接続したときは「ドアホンアダプター」、インターホンを接続したときは「インターホン」を選ぶ （☞ 共通編「こんな機器が増設できます」） インターホン、ドアホンアダプター
ドアホン接続	ドアホンの接続を設定する ドアホン1：あり、なし ドアホン2：あり、なし ● 使わないドアホンは「なし」を選ぶ
Fボタン	F に登録する機能を選ぶ（☞ 30ページ） なし、電気錠、機器、文字表示
ドアホン自動録画	ドアホンからの呼び出し時に、映像を自動録画する ドアホン1：ON、OFF ドアホン2：ON、OFF

機能を変える（機能設定一覧表）

お好み設定

機能を変える（機能設定一覧表）

その他の機能（つづき）

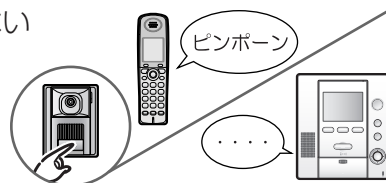
24 ページの手順 2 で「その他」を選んだときに設定できる機能です。

［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
録画枚数振分	録画可能な枚数（最大 100 枚）を、ドアホンとカメラ（別売）で分けることができる する、［しない］ ●「する」を選ぶと、ドアホン画像は最大 30 枚、カメラ画像は最大 70 枚になる
ドアホン録画数	ドアホンの録画枚数を選ぶ（ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） ［1 枚］、4 枚 ●「4 枚」を選ぶと、自動録画または手動録画時に 4 枚の映像を録画する
録画開始時間	ドアホンからの呼び出し時に、自動録画を開始するタイミングを選ぶ（ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） ［標準］（約 2 秒）、遅い（約 3 秒） ● 夜間など映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ
中継アンテナ	増設した中継アンテナ（最大2台）で、どの機器を中継するかを選ぶ ［子機 1］、子機 2、子機 3、子機 4、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4 ● ドアホン親機に登録していない機器は、グレー表示となり選べない
画像全消去	ドアホン親機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、録画した画像をすべて消去する ● 保護設定している画像も消去する
設定の初期化	「ドアホン親機の機能」「その他の機能」の設定内容と、呼出音量や受話音量を、お買い上げ時の設定に戻す ● 録画画像は消去されない ● 画像の保護設定は解除されない ●「中継アンテナ」の設定は初期化されない

着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）

下記の設定で、ドアホン親機や子機ごとに、着信させたくないドアホンやカメラ(別売)を「OFF」にしてください。

- お買い上げ時の設定：すべて「ON」
- 「OFF」にしたドアホンやカメラからは着信しなくなります。

1 機能設定の画面が出るまで、明るさ/設定 を約３秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 で[その他]を選ぶ

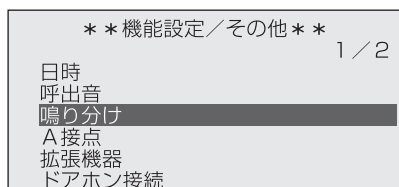
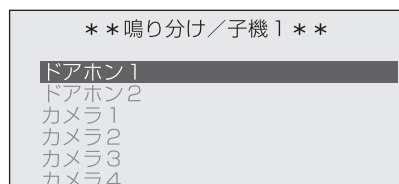
3 を押し、で[鳴り分け]を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
１／２
日時
呼出音
鳴り分け
Ａ接点
拡張機器
ドアホン接続

4 を押し、で親機または子機を選ぶ

＊＊鳴り分け＊＊
親機
子機１
子機２
子機３
子機４

5 を押し、で設定する機器を選ぶ

＊＊鳴り分け／子機１＊＊
ドアホン１
ドアホン２
カメラ１
カメラ２
カメラ３
カメラ４

6 を押し、で[ON]または[OFF]を選ぶ

＊＊鳴り分け／子機１／ドアホン１＊＊
●ＯＮ
ＯＦＦ
現在の設定値

7 を押す

- 「ピー」と鳴り、手順５の画面を表示する

8 終わったら、

を押す

お知らせ

- 下記の場合は鳴り分け設定がはたらかず、「OFF」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
  - ドアホンやカメラとの通話またはモニター中の着信
  - 子機と通話中の着信
- **「親機」の設定で、ドアホンの鳴り分けを「OFF」にしたとき**
  ➔増設したインターホンや、ドアホンアダプターで接続した電話親機なども、ドアホンから着信しなくなります。

Fボタンに機能を登録して使う（電気錠/機器/文字表示）

右記の中から使いたい機能をひとつ選んで登録してください。

- 「電気錠」や「機器」は、ドアホン親機に別売の機器を接続したときに利用できます。（☞ 共通編「こんな機器が増設できます」）

機　能	登録後に F を押してできること
なし	何も動作しません（お買い上げ時の設定）
電気錠	電気錠の施錠 / 解錠
機器	エアコンなどの機器の ON/OFF
文字表示	画像に重なって表示される文字の表示 / 非表示

1 機能設定の画面が出るまで、明るさ/設定 を約 3 秒間押す

2 で［その他］を選ぶ

3 D を押し、で［F ボタン］を選ぶ

4 D を押し、で登録する機能を選ぶ

5 D を押す

- 「ピー」と鳴り、手順 3 の画面を表示する

6 終わったら、切 を押す

Fボタンの使いかた

「電気錠」や「機器」を登録しているとき

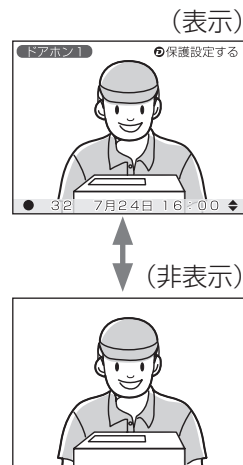
施錠 / 解錠（ON/OFF）したいときに、F を押す

- 押すごとに施錠 / 解錠（ON/OFF）する

電気錠を施錠、または機器が ON の状態のとき

「文字表示」を登録しているとき

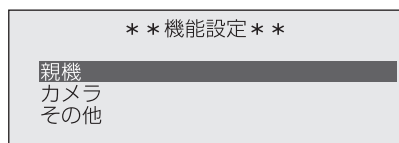
映像（画像）表示中に、F を押す

- 押すごとに文字が表示 / 非表示する

メロディや光で着信を知る（A 接点）

ドアホン親機の A 接点端子にメロディサインや回転灯、光るチャイムなどを接続すると
ドアホンやカメラ（別売）の着信に連動してはたらきます。
（☞ 共通編「こんな機器が増設できます」）
連動させたいドアホンやカメラは指定できます。

- お買い上げ時の設定：すべて「ON」
- 「OFF」にしたドアホンやカメラからの着信時には、メロディサインなどがはたらかなくなります。

1 機能設定の画面が出るまで、

を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 で［その他］を選ぶ

3 を押し、で［A 接点］を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
1／2
日時
呼出音
鳴り分け
A 接点
拡張機器
ドアホン接続

4 を押し、で設定する機器を選ぶ

＊＊A 接点＊＊
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2
カメラ 3
カメラ 4

5 を押し、で［ON］または［OFF］を選ぶ

＊＊A 接点／ドアホン 1＊＊
●ON
OFF

6 を押す

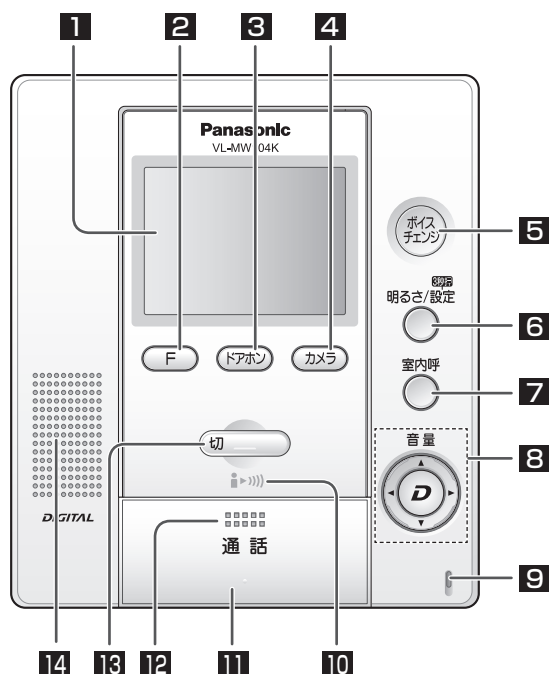
- 「ピー」と鳴り、手順 4 の画面を表示する

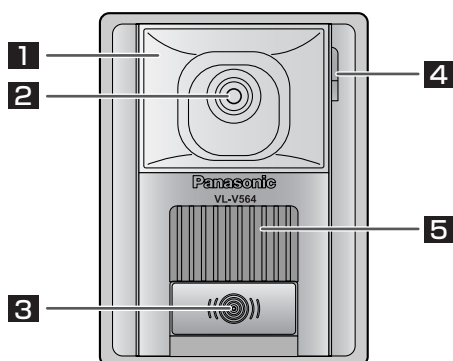
7 終わったら、

を押す

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VL-MW104K

1 Display
2 F button
(To lock/unlock the door, and etc.)
3 Doorphone button
4 Camera button
5 Voice change button
6 Brightness button
7 Intercom button
8 Navigator/Volume control button
Playback/Set button
9 Microphone
10 Talk indicator
(Lights while you are talking)
11 Talk button
12 Conversation indicator
13 Off button
14 Speaker

VL-V564-K

1 Panel
2 Camera
3 Call button & indicator
4 Microphone
5 Speaker

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press 通話 (11).

■ To monitor outside image

Press ドアホン (3).
(To talk to the visitor, press 通話 (11).)

■ To monitor a camera image

Press カメラ (4).
(To talk to a person near the camera, press 通話 (11).)

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press カメラ (4).
(To talk to a person near the camera, press 通話 (11).)

■ To record the displayed image

Press D, while " D 保存 " is displayed.

■ To play back the recorded image

1 Press D.

2 Select a desired item using ◆.

3 Press D.

4 Press ◆ to select a desired image.

さくいん

A～Z 行

あ 行

か 行

さ 行

た　行

な　行

は　行

ま　行

や　行

ら　行

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2230YA SC0505MT1075

Panasonic®　カラーテレビドアホン　VL-SV104K　別冊　取扱説明書（ドアホン親機操作編）